

「地域協働プロジェクト2005 夏バージョン」の展開について ～創ろう! 育てよう! 魅力ある北海道～

国土交通省北海道開発局
地域協働プロジェクト2005プロジェクトチーム

北海道開発局は、平成16年度から「地域協働プロジェクト2004」の取り組みを開始しました。

本プロジェクトは、北海道開発局が実施する社会資本整備はもとより、既存の施設や、知恵・経験・技術など全てを提供し、職員一丸となって、地域の人々と協働して活気ある住みやすい北海道らしい地域社会を実現する方策を進めるものです。平成16年度は約6千人の方々にご参加いただきました。平成17年度は「地域協働プロジェクト2005」として継続します。



国民に健康な食を提供

減農薬米の支援（空知、上川、胆振）

用水路や道路、河川の堤防にハーブを植えてカメ虫を抑制し、安心な減農薬米づくりにつなげます。



北海道観光の魅力UP

フラワーガイドボランティア（滝野すずらん丘陵公園）

園内をガイドしていただく「フラワーガイドボランティア」の活動を支援し、地域に親しまれる公園を目指します。



公共施設の多様な利用

みなとクイズラリーの開催（紋別港）

親水防波堤や港湾周辺の施設を活用し、イベントを楽しみながらみなとに親しんでいただけます。



危機管理体制づくり

トンネル防災訓練の実施（一般国道229号）

自治体との連携により、トンネル防災訓練を実施し、道路網の安全性向上を目指します。

1 「地域協働プロジェクト2004」から「2005」へ

「地域協働プロジェクト2004」の成果を活かし、「地域協働プロジェクト2005」として継続していきます。

北海道は、広大な大地、豊かな自然、明瞭な四季など、素晴らしい財産に恵まれています。これらの恵みを活かすべく、道内各地においては、おいしい地場産品提供、雪を活かした観光など、地域の皆様の創意工夫による地域の自立を目指したさまざまな取り組みが行われています。

北海道開発局は組織の発足時より、河川、道路、港湾、漁港、空港、農業基盤などさまざまな社会資本整備を地域に密着した形で一元的に実施し、地域経済の活性化や暮らしの安全・安心の確保に務めてきましたが、地域の将来や地域の自立を目指した開発行政推進のためには、より一層の地域との協働が必要であると考えました。

「地域協働プロジェクト2004」は、北海道開発局が実施する社会資本整備はもとより、既存の施設や知恵・経験・技術など全てを提供し、地域の人々と協働して活気ある住みよい北海道らしい地域社会を実現する方策として、平成16年度より開始しました。本プロジェクトの名称には、「地域に密着した顔の見える開発行政を目指したい」という意味を込めています。

本プロジェクトの実施では、地域の産業や生活に関わりの深い4つのテーマで、地域の皆様と協働の取り組みを進めてきました。16年度は取り組み初年度でしたが、本プロジェクトに約6千人もの地域の皆様に参加いただき、喜びの声を聞くことができ、相応の成果が得られたところです。

17年度はこれらの成果を活かしながら、「地域協働プロジェクト2005」として継続します。

さらに、地域協働プロジェクトの延長として、将来は、雄大な北海道の気候及び自然、道民の方々の気質、北海道開発局の特長を活かした「北海道モデル」というべき事業の推進を目指して、引き続き努力していきます。

2 「地域協働プロジェクト2005」のポイント

地域協働プロジェクト2005は、「景観」に関するプロジェクトについて重点的に取り組むとともに、新規プロジェクトの追加及び既存プロジェクトの取り組み強化を行います。

(1) 「景観」に関する重点的な取り組み

周辺環境と調和した景観は、人々に心の潤いと安らぎを与えます。また、「美しい国づくり政策大綱」の策定（H15.7.11）や景観法の全面施行（H17.6.1）等、景観行政を取り巻く情勢も近年大きく変化しています。このような状況を踏まえ、「地域協働プロジェクト2005」ではテーマ2「北海道観光の魅力UP」の景観に関するプロジェクトに重点的に取り組みます。

(2) より地域に密着した顔の見える開発行政の展開

「地域協働プロジェクト2004」においては、186市町村（夏バージョン31プロジェクト164市町村、冬バージョン17プロジェクト135市町村）で協働の取り組みを進めることができました。「地域協働プロジェクト2005夏バージョン」では、新規の取り組みを含め、全53プロジェクトを実施します。

また、「地域協働プロジェクト2004」参加者の声及びアンケート結果を踏まえ、継続の取り組みについては、開催地域の拡大、開催期間の延長、参加団体の拡充など、さらなる取り組みの強化を行います。

3 「地域協働プロジェクト2005」のテーマ

地域の産業や生活に関わりの深い、「国民に健康な食を提供」「北海道観光の魅力UP」「公共施設の多様な利用」「危機管理体制づくり」の4つのテーマで、北海道開発局が一丸となって地域の方々との協働によるプロジェクトを進めています。

○テーマ1

「国民に健康な食を提供

—信頼できる北の大地から—

北海道では、恵まれた自然環境や雄大な景観を背景に、広大な農地や水産資源を活用した効率的な食の生産が行われています。

消費者の「食の安全・安心」の期待に応えられるよう、国民に健康な食を提供することが重要となっています。

本テーマでは、地域の方々と連携した植林活動など、「健全な土と水と豊かな自然」の創造への支援などに取り組みます。



「みどり豊かな地域づくり」の支援

農業・道路両事業が連携した防風・防雪林の整備に向け、由仁町等にて、地域の方々と協働し、自生種の活用方法等を検討します。
(写真：中標津町の豊かな防風林)

○テーマ 2

「北海道観光の魅力UP」

豊かな自然や景観、明瞭な四季、雪など、北海道は観光面でも「アジアの宝」というべき素晴らしい資源があります。

北海道観光の魅力を高めていくためには、地域の観光資源の再発見や関連施設の整備とともに、北海道らしい「旅のストーリー」を演出することが大切です。

本テーマでは、地域丸ごとを博物館と見立て住民参加で作り上げる有珠山エコミュージアムに分かり易い案内標識を設置するなど、地域密着型の



エコミュージアムサイン計画（西胆振地区）

火山との共生をテーマに、地域を丸ごと博物館に見立てたエコミュージアムにて、案内標識設置等を行います。

取り組みを拡充します。また、特に景観を活かした観光への取り組みを強化します。

○テーマ 3

「公共施設の多様な利用」

北海道開発局は、道路、河川、港湾、農業施設などさまざまな公共施設を整備しています。地域の方々の知恵を集め、協働することにより、これらの公共施設は、本来の目的に限らない、イベント開催や美しい空間づくりなど、いろいろな形で地域の方々に利用していただける可能性を秘めています。

北海道開発局は、北海道の将来像を地域の方々と共に創っていきたいと考えており、道、川、港などへの親しみを深めていただくため、本テーマでは、港湾・漁港の屋根付き施設をイベント会場等として、より工夫を凝らして活用するなど、多くの方々に多様な形で公共施設を利用していただきます。



港湾・漁港の防風・防雪施設等の活用（増毛港など）

冬季の風雪防止のための施設を夏季に有効活用し、雨に濡れない快適な空間で地域のイベントを開催します。

○テーマ 4

「地域との協働による危機管理体制づくり」

北海道は、近年、地震や集中豪雨、火山の噴火、大雪などの大きな災害に見舞われています。

災害に強い地域づくりを進めていくためには、北海道開発局などが行う防災施設の整備とともに、日頃から市町村や地域の方々と連携して防災活動に取り組んでいくことが重要となっています。

本テーマでは、樽前山噴火に備え、地域の方々と協働した防災啓発活動を実施するとともに、白

老町と協働して防災拠点となる施設整備を行うなど、地域に根づいた活動による危機管理体制づくりに取り組みます。



火山噴火に備えた防災力向上の支援（白老町）

樽前山の噴火に備え、住民の方と協働した防災啓発活動を行うとともに、既存の交通網が寸断されても陸上及び海上の経路を確保する防災拠点を整備します。

4 プロジェクトの実施

それぞれのプロジェクトについては、担当する開発建設部から実施に先立って報道発表等による公表を予定しています。

今年度内においても、プロジェクトの追加を行う予定であり、準備の整ったプロジェクトから随時公表します。また、各プロジェクトの実施にあたり、事前に各開発建設部より報道発表等による公表を行う予定です。

これらのプロジェクトについて、参加者によるモニタリング・評価を行い、来年度の「地域協働プロジェクト2006」に反映します。

(問い合わせ先)

国土交通省北海道開発局

代表電話 011-709-2311

港湾空港部港湾計画課長 栗田 内線5611

開発監理部開発計画課地域連携推進室長

真田 内線5462

5 個別プロジェクト

テーマ1：国民に健康な食を提供 ー信頼できる北の大地からー	
1	減農薬米生産の支援
2	農山漁村の生きもの調査
③	堤防の刈草を活用した循環型農業の支援
④	地域の方々と協働し「みどり豊かな地域づくり」を支援します
⑤	自然環境と共生した農業・農村をめざします
6	農産物直売所マップづくり
⑦	「安全安心お魚通信」の発行
テーマ2：北海道観光の魅力UP	
1	「わが村は美しくー北海道」運動
②	恵庭市「道と川の駅（仮称）」の展開
③	バスガイドさん達と協働した「道路ガイドブック」づくり
④	道の駅「望羊中山」に隣接する写真美術館におけるパネル写真の共同展示
5	札幌国道50周年記念事業
⑥	旭山動物園へのアクセス向上による「旭川観光の魅力UP」
⑦	エコミュージアム統一サイン計画
8	阿寒湖温泉街における交通システム改善
⑨	北海道遺産「天塩川」を活用した地域振興
⑩	釧路港舟漕ぎ大会
11	「船の駅」と「道の駅」の連携
12	土木遺産小樽港北防波堤の活用
13	ビューポイント駐車場の整備 <景観>
14	花いっぱい道 ～新千歳エアポート花ロード
15	道路沿道景観の通信簿 <景観>
⑯	札幌近郊 花めぐりスタンプラリー
⑰	フラワーガイドボランティア
⑱	みなとウォークラリーの開催
⑲	漁港や漁業の体験学習を通じた地域振興
20	地域と一体となった道路情報の提供
テーマ3：公共施設の多様な利用	
1	国道の除雪ステーション等を活用した地域振興
②	石狩川愛別頭首工を地域のシンボル空間に
③	農業水利施設等を活用して地域振興を支援します
4	河川広報施設を活用した地域交流とネットワークの形成
⑤	緩やかな堤防法面の採草・放牧地への活用検討
6	港湾・漁港の防風・防雪施設等を活用したイベントの開催
⑦	みなとクイズラリーの開催
8	市民主催のイベント開催による親水型港湾施設の有効活用
⑨	河川を活かしたサイクリングネットワーク
⑩	農業水利施設を利用して環境教育を支援します
⑪	光ファイバーケーブルを活用した地域イントラネット整備
12	釧路港フラワーポート事業（市民の方々による植栽）
13	北海道開発がわかる資料館の活用（道路情報館）
⑭	新水路の水辺空間を活用した十勝エコロジーパーク計画の推進
15	地域と連携した赤松並木の保護
⑯	産官学が連携したエネルギー自立型ゼロエミッションタウン
テーマ4：地域との協働による危機管理体制づくり	
①	火山噴火に備えた防災体制・防災力向上を支援
②	大規模水害を想定した危機管理演習の実施
③	「水災に強い地域づくりモニター」の活動を支援
④	河川災害情報普及支援室による地域の防災力向上支援
5	地震・津波を想定した危機管理演習の実施（ロールプレイング方式）
⑥	防災情報の共有化
⑦	コミュニティFMを通じた防災情報の提供
⑧	トンネル供用に併せた地域共同防災訓練の実施
⑨	地域の防災意識の向上
10	地域防災教育支援
全 53プロジェクト	

※番号に○のついたものは新規プロジェクト